

虎ヶ岡城跡(秩父郡長瀬町)

築城年代: 戦国時代、築城者: 猪俣範綱

右手は円良田特産センター/ここから前方へ少し行った先の左手から虎ヶ岡城跡を目指す



ここに入って行く/左手に行き先表示板が立っている





虎ヶ岡城址 (東側)
800m (24分)

ここを登って行くと東側から虎ヶ岡城跡へ登城することになる



この橋を渡って虎ヶ岡城跡まで所要22分のような



これは先程の道路を更に進んで左折し、林道を峠へ向かう途中で正面に虎ヶ岡城本郭跡に建っている東屋を見たところ



その東屋をアップで見たところ



それではここから登城しよう/前方上に御堂が見える



これが御堂



覆屋が架かっている



ここから登ろう





こんなハイキング道を登って行く



途中左手(南方向)が開けている



尾根伝いに登って行く





かなり登って来た



すると、こんな虎口状のようところが



前に進んで振り返って見たところ/一寸した平場があり、ここは既に城域なのか



更に登って行く



前方にマウンドが見える



右手に廻って下から覗くとこんな塩梅/岩盤を割り抜いた井戸の跡らしい



井戸の窪みを上から見たところ



さて、更に登って行く





本郭跡東側の最初の堀切がある



その堀底と土橋を見たところ



堀底を左手から右手方向に見たところ



左手を見上げると本郭跡へ進む方向



右手を見るとこんな岩盤が見える



振り返って見たところ/堀切は縦掘り状となって下り落ちている



さて、更に登って行こう



振り返って今の堀切を見たところ



少し退いて見たところ



前に進もう



正面前方に本郭跡に建つ東屋が見えてきた/この辺りは平場となっている(郭跡なのか)



正面上に東屋の屋根が見えるが、手前に東側二つ目の堀切がある



その堀底と土橋を見たところ



堀底を右手から左手方向に見たところ



土橋を見たところ



堀切は豎掘状となって下り落ちている



振り返って堀底を見たところ



左手を見上げると本郭跡へ進む方向



堀切を越えて振り返って堀切を見たところ



右手を見たところ



左手を見たところ



さて、前方を見ると東屋の建つ本郭跡の手前に平場がある/ここは腰郭跡(三の郭跡とも)



こんな感じ



さて、いよいよ本郭跡へ登ろう



振り返って三の郭跡を見たところ



ここが本郭跡/左手に説明板が立っている/東側から西方向を見たところ



振り返って今登って来た方向を見たところ



下には三の郭跡が見える



とら が おか つぶら た じょう し
虎ヶ岡(円良田)城址

とら が おか じょう べつ めい つぶら た じょう ひょうこう つうじょう しろ やま きず
虎ヶ岡城は別名円良田城ともいわれ、標高337mの通称「城山」に築かれ
た山城である。

ちく そう せん ごく じ だい まえ じ だい はな その じょう し じょう ふじ た し きず
築造は、戦国時代より前の時代に花園城の支城として藤田氏により築かれた
とも、戦国時代に北条氏邦の居城である鉢形城の支城として猪俣小平太範綱に
より築かれたものともいわれるが、詳細は不明である。

せん ごく じ だい はち がた じょう し じょうぐん ひと はち がた じょう しょくりょう きょうきゅう たん とう
戦国時代には、鉢形城支城群の一つとして、鉢形城への食糧の供給を担当す
る重要な役目を果たしており、北条氏の支配下にあったと考えられる。

てんしょう ねん ねん とよ とみ ぜい はち がた じょう こう げき さい
そのため、天正18年(1590年)の豊臣勢による鉢形城攻撃の際に、この
とら が おか じょう さな だ まさ ゆき たい ぐん さ む しろ まも や な せ たい がく か
虎ヶ岡城にも真田昌幸の大軍が差し向けられ、城を守る矢那瀬大学らが20日
間にわたり防戦に努めたが落城したといわれている。

み さと まち
美里町

「虎が岡城址」と記されている



北東方向を見たところ



アップで見たところ



これは反対に南西方向を見たところ



この下にも平場がある/これも腰郭跡(二の郭跡とも)



こんな感じ



これは西側から東方向を見たところ



そこから左手(北西方向)を見たところ/この方向へ2km程行くと陣見山へ至るようだ



その先はこんな感じで前方に城域が続いている



本郭跡にはこんな窪みがあった



反対側から見たところ



これは南側にある虎口/この方向に2.5km程行くと波久礼駅に至るようだ



この虎口のところには内柵形のような窪みがある



こんな感じ



虎口を下って行く



振り返って見たところ



正面が二の郭跡/東側から西方向を見たところ



南側から北方向に見たところ/前方右手の上が本郭跡



振り返って南方向を見たところ/二の郭跡の下に小さな平場がある



その平場はこんな感じ/これも腰郭跡であろうか/南方向を見たところ



振り返って二の郭跡方向を見たところ



更に南方向のもう一段下に小さな平場がある



こんな感じ/南方向を見たところ



その先は急峻な斜面となっている



振り返って上の段の腰郭跡方向を見たところ



さて、二の郭跡へ戻って北方向へ進もう



右手を見上げると本郭跡



左手を見ると下って行く道がある



こちらは波久礼駅方面に至るようだ



さて、正面の本郭跡の城塁はマウンド状になっており、これは土塁なのだという



アップで見たところ



正面から見たところ/ここに木戸があったらしいという



さて、前に進もう



ここは本郭跡から北西の陣見山方向への虎口を下りてきたところ



その先はこんな堀切となっている



これは振り返って今来た方向を見たところ



これはこの本郭跡の北西方向にある最初の堀切の堀底と土橋を見たところ



左手を見たところ



右手を見たところ



堀切を右手から左手方向に見たところ



堀切を越えて振り返って見たところ



右手を見たところ



少し退いてから見たところ/本郭跡の東屋が見える



さて、更に進もう/この辺りは平場となっている(郭跡なのか)



すると、前方に本郭跡の北西方向にある二つ目の堀切がある



堀底を見下ろしたところ



左手を見たところ



右手を見たところ



堀底を右手から左手方向に見たところ



その先は縦堀状となって下り落ちている



堀底を左手から右手方向に見たところ



その先には一寸した平地が見える



そして、その左手には豎堀のようなものがある



堀切を越えて振り返って見たところ



左手を見たところ



右手を見たところ



少し退いてから見たところ/本郭跡の東屋が見える



さて、更に進もう



この辺りは平場となっている(郭跡なのか)



少し下って進む



すると、前方が堀切状になっている/これが本郭跡の北西方向にある三つ目の堀切であろうか



その堀切状のところを越えて、振り返って見たところ



右手は竖掘状となっている



左手には一寸した平場がある



こんな感じ



更に進もう



この先は少し登って行く感じだが、城域としてはここまでか/ここを行くと林道の峠方向に至り、そこには東屋と駐車場があるようだ



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/050toragaoka/toragaoka.html>

<http://yogokun.my.coocan.jp/saitama/misatomati.htm>

<http://www.chichibu.ne.jp/~keig/index16.htm>

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/joukan-saitama/tuburata-jou-misatomati/tuburata-jou-misatomati.html>

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kanetukidouyama/toragaokajou.html>

<http://tutinosiro.blog83.fc2.com/blog-entry-2886.html>

<http://4619.web.fc2.com/shiro78.html>

http://gi001.gokenin.com/tanbou/11_saitama/05_kodama/004_misato/011_tuburata/tsuburata_jou.html

